

新本庁舎建設 ニュースNo.18



足場が取り外され 外構工事が始まりました

1階から3階まであった工事用の足場が10月8日までに解体され、庁舎の外観が良く分かるようになりました。最上階の4階では、外装工事が行われていますが、工事が終了する11月中旬ごろにはすべての足場が取り払われます。また、建物周辺の外構工事が始まり、駐車場の排水路や駐輪場の基礎工事が行われています。



足場が外され始めた本庁舎（10月8日撮影）

内装工事では、執務室部分の天井が貼られ、1階ではカウンターの骨組みの取り付けが行われています。現在、約260人の作業員の皆さんにより工事が行われていますが、今後300人に増員され、工事はよいよ最終段階を迎えます。



1階執務室の様子（10月8日撮影）

本庁舎内庁舎建設推進課
TEL71・2000(代) FAX71・5000

■自助・共助する力を強化 市防災訓練を実施

市防災訓練が9月7日、堀金総合体育館を主会場に行われました。この訓練は市防災計画に基づき行われるもので、本年は、市民の皆さんに「自助」「共助」への関心を高めるとともに、併せて大規模災害発生直後の初期対応と応急対策を目的に行いました。会場では堀金地域の皆さんが参加し、自分たちで避難所

を運営することを想定した訓練や、医療救護所で、多数の負傷者に対し、負傷の程度で治療の優先順位を決める「トリアージ」の手順を確認する訓練も行われました。また、今回初めて自主参加型の一斉防災訓練「シェイクアウト訓練」も行われ、自主防災会など10団体約1300人が参加

しました。参加者は、公民館や集会所などに集まり、防災行政無線を合図に1分間、地震の揺れから身をを守る三つの「安全行動」を取りました。市では、本年度の訓練内容を評価し、来年度もより実際の災害に即した訓練を行っていく予定です。



安全行動を取る皆さん（三郷一日市場区見岳町集会所）

■新市まちづくり計画の期間変更 地域審議会が答申

5地域の地域審議会では、市が本年7月に意見を求めた諮問内容について審議内容をまとめ9月4日、県安曇野庁舎で宮澤市長に答申しました。

今回の答申は、市まちづくり計画（新市建設計画）の計画期限を現在の平成26年度から32年度まで変更することについて応えたものです。各審議会とも計



宮澤市長に答申書を手渡す

画期限の延長を認める内容となっております。

平成17年2月に策定された市まちづくり計画は、合併後の市の将来像のほか、道路などの整備、産業振興や福祉サービスなどの充実といった主要施策とその実現に向けた財政計画などが記されています。計画に沿った事業は、合併特例債の対象とな

ります。

市では、今回の答申を受け、県知事との協議、市議会3月定例会での議決など必要な手続きを行います。計画の変更が認められると、合併特例債の発行期限が延長され、制度を活用しながら保育園など市まちづくり計画に沿った施設の整備などを計画的に行っていく予定です。

■青少年健全育成を市全体で取り組む センターを設置

市の青少年健全育成の拠点となる「市青少年センター」を10月から市教育委員会内に設置しました。同センターは、これまで5地域ごと異なっていた青少年健全育成に向けた取り組みを市全体で総合的に進め、事業の立案や広報活動、相談などの業務を行います。

開設初日となった10月1日、明科支所で第1回同センター運

営委員会が開かれ、望月教育長から委員に委嘱書が手渡されました。委員長には明科地域青少年育成市民会議の内川勝治さん（明科中川手）が選ばれました。会議では、本年度の事業計画が審議され、重点項目として、近年、増加しているインターネットや携帯電話を使ったいじめや犯罪被害に青少年がかわないために啓発・広報活動や相談業

務を行っていくことを確認しました。また、この日は各地域で巡回活動や社会環境浄化活動を行う同センター青少年委員20人の委嘱式も併せて行われました。

【相談窓口】

市青少年センター（教育委員会生涯学習課内）
TEL62・4565(代) FAX62・3525



望月教育長から委員に委嘱書が手渡された